

山梨県立 考古博物館だより

NO. 65

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kouko-hak>

発行 山梨県立考古博物館
発行日 平成20年3月31日

〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3881 (代) FAX 055-266-3882

小・中学生の 考古学研究 第5回 わたしたちの研究室

「わたしたちの研究室」は、県内小・中学生の考古学研究を募集・表彰し、応募作品の全てを展示公開していく事業です。平成19年度は、総勢296名にも及ぶ児童・生徒の応募があり、外部識者を交えた表彰作品選定委員会の審査の結果、個人研究部門10名、団体研究部門4件を表彰いたしました。



表彰式・研究発表会：平成20年1月26日



展示会：平成20年1月27日～2月24日開催

第5回 わたしたちの研究室 入賞者のみなさん

○個人研究部門

最優秀賞（教育委員長賞）

甲州市立塩山南小学校 小関里歩

「縄文人の生活について」

庭から出土した土器片が研究のきっかけでした。縄文遺物を展示する多くの博物館を訪れ、縄文人の生活と自身が体験した縄文土器作りについてまとめました。



優秀賞（教育長賞）

甲府市立石田小学校 室伏美佳

「いせきを発くつ」

馬の全身骨格が出土し話題となった朝気遺跡の発掘体験レポートです。体験した拓本や新聞記事を添えながら、わかりやすくまとめました。

駿台甲府中学校 永関梨子

「金生遺跡～縄文人の思い～」

しっかりとした構成で、読みやすくていねいにまとめたレポートです。住居内外の気温を比較したり、遺跡を時間軸の中で、また地域全体の中で捉えるなど、工夫されています。

- ・19年度の応募のうち、団体Ⅱ「縄文土器・勾玉作りに挑戦」以外は全て夏休みの自由研究で取り組んだ研究成果でした。
- ・20年度実施要項及び必要書類は、ホームページからダウンロードできます。

努力賞（山梨県考古学協会賞）

甲府市立大國小学校 河西佳弥
「古墳の研究」

駿台甲府中学校 上條青依

「釈迦堂遺跡博物館と橋詰遺跡」

駿台甲府中学校 神宮司文菜

「加牟那塚古墳の研究—県内第2位の石室—」

韮崎市立韮崎東中学校 河西正悟

「竪穴住居を作ろう！」

奨励賞（館長賞）

駿台甲府中学校 三神慧子

「義清神社の研究～甲斐源氏の祖・義清の動きを追って～」

甲府市立富竹中学校 小宮山沙樹

「甲府空襲について」

甲府市立富竹中学校 中澤綾

「慈照寺 ～昔話から探るお寺へ～」

○団体研究部門Ⅰ

努力賞（山梨県考古学協会賞）

甲府市立大國小学校 前田雄大、菊池和磨

「お金の歴史」

○団体研究部門Ⅱ

奨励賞（館長賞）

駿台甲府中学校 1 学年

「縄文土器・勾玉作りに挑戦」

駿台甲府中学校 2 学年

「身近な地域の遺跡調査レポート」

甲府市立富竹中学校 1 学年

「社会科夏休み課題レポート」



ジュニアインターンシップ ご相談ください!

当館では、中・高校生が考古学と博物館そして学芸員について総合的に考え・体験できるよう、埋蔵文化財センターと連携して職場体験を受け入れています。実施期間や内容について、気軽にご相談ください。

- 活動例：施設について、整理作業、教育普及実習、まとめ（写真上から整理作業（実測）とまとめ（発表）の様子）
- 19年度実績：中学校5校（23名）、高等学校1校（2名）

開館25周年記念特別展

世界遺産 ナスカ展

地上絵の創造者たち



渦巻きや無数の直線とハチドリやコンドルなどの動物。
南米ペルーの荒涼たる砂漠地帯に描かれたナスカの地上絵は、「世界8番目の不思議」とも言われます。

開館25周年記念として開催した特別展「世界遺産ナスカ展」では、地上絵の謎やナスカ人の生活と世界観について、考古学と人類学の最新調査成果から迫っていきます。

ナスカ遊覧飛行を楽しむバーチャル体験や黒い瞳を持つ子どものミイラ、そして、多彩色土器や織物に描かれたユニークな図像など、見所満載の本展覧会は、10月10日から11月30日までの52日間無休で開催され、『シカン発掘展』に次ぐ51,241人の方が観覧されました。



「ナスカの調べ 野外コンサート」

展覧会のテーマ音楽を演奏する瀬木貴将さんらを招き、さわやかな秋空の下、コンサートをを行いました。



「ナスカ地上絵を描く」 「熱気球に乗って地上絵探検」

ロープで原図を拡大し、石灰でハチドリを描きました（実物の1/3大）。

この他に、黒い瞳の謎に迫った「特別講演会『ナスカミイラの謎』」や中南米の代表的な赤色染料・コチニールでシルクのマフラーを染めた「原始古代の技に学ぶ『コチニールで染色』」などの関連イベントを開催し、いずれも盛況のうちに終了しました。

特別展のあゆみ

- | | |
|---|--|
| 第1回 「土偶—一千の女神が語る縄文時代の祈りとくらし—」
…1983（昭和58）年 | 第13回 「黄金の都シカン発掘展」 |
| 第2回 「縄文時代の酒道具—有孔鏝付土器—」 | 第14回 「ネアンデルタール人の復活展」
…1996（平成8）年に天皇陛下・皇后陛下ご来館 |
| 第3回 「山梨の中世陶磁—やきものと甲斐人のくらし—」 | 第15回 「韓国・忠清北道の古代文化展」 |
| 第4回 「古代甲斐国と畿内王権」 | 第16回 「遙かなるエジプト展—古代人の生活を探る—」 |
| 第5回 「古代官道と甲斐の文化」 | 第17回 「縄文の旅—三内丸山から北陸、そして山梨へ—」 |
| 第6回 「古代の装身具—美と祈りと技術—」 | 第18回 「中国四川省古代文物展」 |
| 第7回 「一粒の糶—弥生農耕の風景—」 | 第19回 「—古墳時代の金工品—黄金の輝き」 |
| 第8回 「古墳時代が聞こえる」 | 第20回 「技と美の誕生—名宝でつづる縄文文化—」 |
| 第9回 「縄文土器 その心象世界」 | 第21回 「遙かなるイスタンブール 大トルコ展—文明と美術—」 |
| 第10回 「天下人の時代」 | 第22回 「縄文の女神—人面装飾付土器の世界—」 |
| 第11回 「山梨の経塚」 | 第23回 「縄文時代の暮らし—山の民と海の民—」
…2005（平成17）年に入館者100万人を記録 |
| 第12回 「古墳時代の甲冑」
…1994（平成6）年に入館者50万人を記録 | 第24回 「甲府盆地から見たヤマト—甲斐銚子塚古墳出現の背 |

新企画!

こうこはく de

タッチ&トーク

遺物を自分の手にとって見るのができたら…。形や色、肌触りやにおい、そして重さを自分の手で確かめるのができたら…。そんな願いを叶えてくれるギャラリートークが19年度にスタートしました。学芸員が最新の研究成果を踏まえて、それぞれのテーマに迫りました。(1日4回程度、1回30分)

写真の遺物は、大師東丹保遺跡(南アルプス市)から出土した下駄で、この日のテーマは「下駄をはいた中世びと～鎌倉時代の木製品～」でした。



※トンボ玉…2色以上の色模様が表現されたガラス玉。県内古墳からは平林2号墳(笛吹市)から出土しています。

ものづくりを通じて、先人の技と心に触れる教室です。写真は、県内から出土した実物を目の前に、本物と同じ工程で本物と同じに作る「縄文土器作り教室」です。使用する粘土ももちろん県内産で、粘土作りから焼成まで、延べ3週間を要す人気の教室です(参加日数は3日)。

20年度は、トンボ玉(※)作りや草木染めの他、特別展「埋められた財宝」の関連イベントとして、「青銅鏡作り」や「土偶作り」教室も開催します。

原始古代の技に学ぶ

大人のものづくり教室

チャレンジ博物館

小中学生親子のものづくり教室

小中学生の親子を対象としたものづくり教室で、19年度は縄文土器や埴輪、矢じりや石包丁作りにチャレンジしました。

写真は、12月に開催した「干支のネズミをつくろう」です。モデルは鯉沢河岸跡(鯉沢町)から出土した泥めんこのネズミ(江戸時代)、実物は1cmほどしかない小さなものです。

持ち帰ったネズミ(※)は、お客さんのお出迎え用として、玄関の置物になったことでしょう。



※2週間乾燥させた後、当館で焼き上げました。

新年の恒例行事

古代のもちつき



弥生時代の木製農具(複製、竪臼と竪杵)を使った考古博物館のもちつきです。

5kgもある杵を垂直に上げ下げするこの運動は、見た目以上に大変です。子供たちは口々に「疲れた」を連発しましたが、そのすぐ後には「おいしい」「楽しかった」と満面の笑顔に変わりました。

エントランスホールでは、日本人とネズミの関係を考古資料から探る「新年干支展」を開催し、「古代のもちつき」と併せて、新年の風物詩となっています。

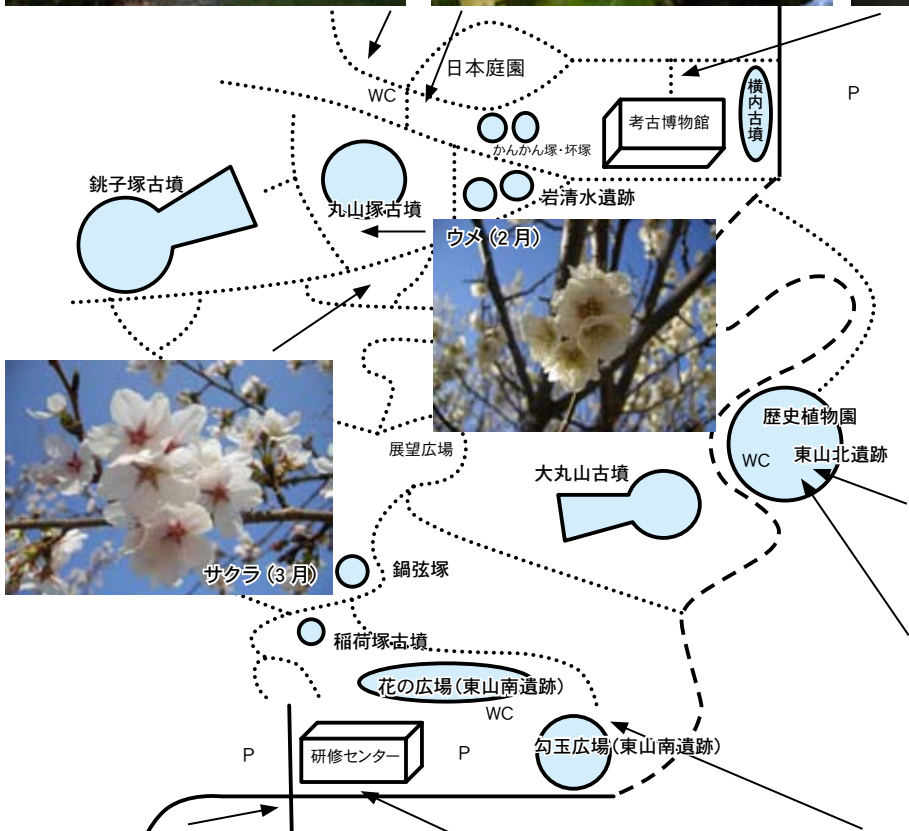
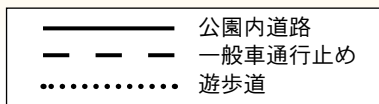
20年度の開催については、7ページをご覧ください。

四季折々

～甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園を歩く～

甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園とその周辺には、およそ2万年前から私たちの祖先が住み始め、旧石器時代からの連綿と続く先人の貴重な足跡が残されています。巨大な古墳や住居跡など、遺跡の規模や雰囲気を体感してみませんか。遊歩道やベンチそして広場が整備された園内は、お弁当を持って1日楽しむことができます。歩く季節によって異なる顔を楽しむことができる公園、今回は公園の四季折々を紹介します。

※毎週土曜日は、考古博物館の小・中・高校生観覧が無料となります。
 ※風土記の丘研修センターでは、ご家族で火起こしやまが玉作りを体験できます。
 (火起こし体験：無料、まが玉作り：材料費1人120円)





1,100,000人

第25回特別展「世界遺産ナスカ展」開催中の11月10日(土)、開館以来の当館入館者総数が110万人を突破しました。笛吹市在住のご家族には、学芸課長製作の土器をはじめ、記念品が贈られました。

※当館では、入館者10万人ごとの記念として、実物大に製作した土器を贈呈しています。今回は甲ツ原遺跡(北杜市)の深鉢形土器(縄文時代中期)で、ドーム形の把手と胴部の並行沈線による集合条線が特徴的です。あたかも滝から流れ落ち、そこから湧き上がる水煙をイメージしたかのような造形美の土器です。現在、風土記の丘研修センターにて実物を展示中です。

平成19年度考古博物館事業参加者統計

◎原始古代の技に学ぶ

開催日	内容	参加者(名)
4/29・8/11	大型勾玉とガラス小玉作り	36
5/19・6/30・9/17・3/9	トンボ玉作り	42
5/26・6/2・6/16	縄文土器作り(粘土作り・成形・焼成)	30
7/14	最古の編み物～アンギン～	14
8/26・9/1・9/15	縄文土器作り(粘土作り・成形・焼成)	27
12/16	煉香作り	30
1/19	草鞋作り	26
1/26・2/2・2/3・2/16	縄文土器作り&上級者大会(粘土作り・成形・焼成)	60
2/9	草木染め	23

◎チャレンジ博物館

開催日	内容	参加者(名)
5/27・3/16	弥生時代の矢じりをつくろう	32
6/10	縄文時代の装身具をつくろう	28
7/21・28・8/11	親子で縄文土器をつくろう(粘土作り・成形・焼成)	69
12/8	干支のネズミをつくろう	26
1/13	埴輪をつくろう	26
2/10	弥生時代の石包丁をつくろう	5

◎史跡文化財セミナー

開催日	内容	参加者(名)
4/8	「風土記の丘と武田信虎」	26
5/20	「勝沼氏館跡と甲州街道」 甲州市教育委員会 室伏徹先生	32
8/5	「冷涼なる谷戸城」 山梨県考古学協会 渡邊泰彦先生	38
12/9	「府中防衛と後期古墳」 山梨県考古学協会 信藤祐仁先生	29

◎考古学講座

開催日	内容	参加者(名)
6/3	「中世考古学の周辺」 山梨県立考古博物館 小林健二	24
6/17	「山岳信仰の遺跡」 山梨県考古学協会 信藤祐仁先生	37
7/29	「中世城館遺跡の発掘調査」 山梨県教育委員会 八巻與志夫先生	36
8/12	「甲斐金山遺跡と鉦山技術」 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館長 谷口一夫先生	21

◎特別展開連

開催日	内容	参加者(名)
9/9	事前講座1「南米の世界遺産」 山梨県教育委員会 森原明廣先生	16
9/22	事前講座2「ナスカ地上絵の世界」 山梨県立考古博物館長 遠山和男	53
9/22	モニターニヤス・アンデス音楽の調べ	92
10/7	ナスカ地上絵を描く	54
10/14	熱気球に乗って地上絵探検	201
10/20・11/4	原始古代の技に学ぶ「コチニールで染色」	40
10/21	ナスカの調べ野外コンサート	500
10/28	特別講演会「ナスカミイラの謎」 国立科学博物館 馬場悠男先生	43

◎イベント

開催日	内容	参加者(名)
5/4・5	第20回風土記の丘こどもまつり	4662
7/21～28、8/13～19	夏休み限定・拓本カードをつくろう	52
8/5・12・18	夏休み限定・トンボ玉作り	58
8月～9月、1月～2月(計8回)	こうこはく de タッチ&トーク	337
1/5・6	古代のもちつき	160
1/26	第5回わたしたちの研究室表彰式・研究発表会	39

◎入館者数

内容	参加者(名)
常設展示(2月末現在)	49997
第25回特別展「世界遺産ナスカ展」	51241
春季企画展「山梨の遺跡・縄文時代中期」	6068
夏季企画展「山梨の地上絵」	4001
世界遺産写真展、パネル展「世界遺産と富士山」	764
新年干支展	503
第5回わたしたちの研究室	882
風土記の丘望見展「山梨の縄文人の暮らし」(2月末現在)	97

平成20年度 行事予定

月	企画・特別展	ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～ (高校生以上・一般)	ものづくり教室 ～チャレンジ博物館～ (小中学生親子)	講演会・セミナー	祭り・その他
4	4/26～6/29 「甲斐の前方後円墳」 春季企画展	19 勾玉とガラス小玉作り		6 第35回 史跡文化財セミナー 「風土記の丘と中道往還」	
5		10・17・31 縄文土器作り	25 弥生時代の矢じりをつくろう		4・5 第20回 風土記の丘こどもまつり
6		7 トンボ玉作り	8 縄文時代の装身具 けつ状耳飾りをつくろう	1 第36回 史跡文化財セミナー 「川田町と旧甲州街道」 8 考古学講座 「財宝埋納の考古学」1 22 考古学講座 「財宝埋納の考古学」2	中旬～7月上旬 こうこはく de タッチ&トーク
7	7/19～9/7 「縄文時代草創期・早期」 前期の出土品」 夏季企画展	19 煉香作り	20・27・8/10 親子で縄文土器をつくろう	27 考古学講座 「財宝埋納の考古学」3	中旬 夏休み自由研究プロジェクト 夏休み中 フリーパスポート特別イベント 27～8/6 学芸員実習
8		2 勾玉とガラスの小玉作り 23 最古の編み物～アングン		3 第37回 史跡文化財セミナー 「櫛形町と西郡路」 17 考古学講座 「財宝埋納の考古学」4	2・3 縄文王国山梨体験教室
9	10/1～11/24	20 トンボ玉作り		7 特別展事前講座	2～11/30 第6回わたしたちの研究室 研究成果募集(小中学生)
10	「埋められた財宝」 大型装飾土器、 銅鐸として埋蔵金」 第二十六回特別展	11・18 青銅鏡作り	12 埴輪をつくろう	12 特別講演会1 19 第38回 史跡文化財セミナー 「『埋められた財宝』展と風土記の丘」 26 特別講演会2	
11		8・22 国宝・重文 土偶作り	16 弥生時代の石包丁をつくろう	9 特別講演会3	20 県民の日イベント
12	1/2～2/1	6 煉香作り 13・20・21 草木染めと原始機織り	7 干支の置物をつくろう	7 第39回 史跡文化財セミナー 「古代一宮と鎌倉往還」	
1	1/25～2/22 「第6回の研究たし」 新年 干支展 2/1～3/22	10 トンボ玉作り			2・3 古代のもちつき 24 第6回わたしたちの研究室 表彰式・発表会
2		1/31・2/7・8・21 縄文土器作り&上級者大会			1月下旬～2月中旬 こうこはく de タッチ&トーク
3	山梨の遺跡展 2009 3/14～4/5	14 トンボ玉作り	15 弥生時代の矢じりをつくろう		

※特別展の準備及び撤去作業のため、9月25日～9月30日まで、11月26日～11月30日まで臨時休館となります。この他の臨時休館日と臨時開館日については、HP等でご確認ください。

※この他、職場体験(中高校生、随時)受け入れやどんぐりイベント(不定期)などを開催いたします。

※開催日及び内容を変更する場合があります。詳しくはHPをご覧ください。か電話でお問い合わせください。

※イベント開催日の1か月前から募集を開始します。

いつでも！何回でも！年間パスポート券

考古博物館では、断然お得な定期観覧券（年間パスポート券）を好評販売中です。有効期間は1年間、この期間内であれば、常設展と特別展を何回でもご覧いただけます。

申し込みは当館受付にて、即日交付

1,300 円
(一般・大学生)

500 円
(小・中・高校生)

☆ 4館共通の定期観覧券 **ミュージアム甲斐 in 券**

(県立美術館、県立文学館、県立博物館、県立考古博物館)

一般 5,000 円 大学生・高校生 2,500 円 小学生 1,250 円



☆ プレゼント用定期観覧券（ミュージアム甲斐 in 券、単館用定期観覧券）もあります。

今夏スタート

土器や土偶そして様々な装身具は、王国の名にふさわしい名品揃い。開催館7館を巡り歩くスタンプラリーが、この夏、装い新たにスタートします。スタンプを集めて応募された方には、抽選で素敵な賞品をさし上げます。



開催館：県立考古博物館、
県立博物館、釈迦堂遺跡博物館、
長坂郷土資料館、韮崎市民俗資料館、
北杜市埋蔵文化財センター、南アルプス市教育委員会

学校向け体験学習メニューが4種に！

甲斐銚子塚古墳は、県内最大にして東日本最大級の前方後円墳です。県内全域から出土した遺物を収蔵する考古博物館と巨大古墳の見学、そして原始・古代の体験学習をセットでいかがですか。

学年（または学校）200名まで体験可能となりました。

☆ 説明・体験メニューはホームページをご覧ください。

最大200名まで体験できます！

考古博物館・風土記の丘研修センター利用のご案内

山梨県立考古博物館 TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

開館時間 午前9時から午後5時まで
ただし、入館は午後4時30分まで
休館日 毎週月曜日（祝祭日・振替休日を除く）
祝日の翌日（日曜日・祝日を除く）
12月29日～1月1日

※ 次の場合観覧料が免除になります

- ・ 65才以上の方（ただし、特別展は県外の方を除く）
- ・ 障害者手帳をお持ちの方
- ・ 毎週土曜日の小・中・高校生
- ・ 県民の日（11月20日）
- ・ 県内の学校の教育課程での見学（下記参照）

県内の学校の利用と観覧料免除について

- ・ 教育課程（県内の小・中・高・特別支援学校）で入館される場合は観覧料が免除になります。
- ・ 見学予定日の10日くらい前までに、観覧料免除申請書を提出してください。
- ・ 見学時間を充分にとり、ゆっくりと見学できるようにしてください。
- ・ できるだけ下見をし、担当と打ち合わせをしてください。

学校見学の申し込みと問い合わせ先
055 (266) 5286 風土記の丘研修センター

交通

- 路線バスの利用
 - ・ 甲府駅より豊富行（中道橋経由）→「県立考古博物館」下車
 - ・ 甲府駅より市立甲府病院行→市立甲府病院で下車乗り換え・市営バス古閑町行→「風土記の丘農産物直売所」下車
- 自家用車の利用
 - 中央自動車道甲府南インターチェンジ前

風土記の丘研修センター TEL 055-266-5286 FAX 055-266-5287

休館日 毎週月曜日（祝祭日の場合は翌日）
12月29日から1月3日

